

2021年9月22日
記者発表資料
文化スポーツ振興部国際版画美術館
副館長 鈴木
電話 042-726-2771

市立国際版画美術館「版画の見かた一技法・表現・歴史」開催

市立国際版画美術館では、9月25日（土）から「版画の見かた一技法・表現・歴史」を開催します。

本展は、多種多様な技法によって作られた版画130点を、道具や制作の説明とともに展示し、版画の見かたや楽しみ方を紹介する企画展です。

版画家たちは、木版、銅版、石版、孔版などさまざまな版画の技法を活かして、魅力ある作品を生みだしてきました。本展では、同館のコレクション約3万2000点の中から、アルブレヒト・デューラーやパブロ・ピカソ、棟方志功^{むなかたしこう}といった著名な版画家だけでなく、版画ならではの鑑賞のポイントを持つ作品を紹介し、版画の技法や表現の面白さをわかりやすくお伝えします。

関連イベントとして、木版画、銅版画、謄写版の分野で活躍している3名の版画家が、制作実演と参加者の体験制作指導を行うほか、メディアとしての版画のありかたに関する記念講演会、担当学芸員によるギャラリートーク、プロムナード・コンサートを実施予定です。

■ 会 期 9月25日（土）～12月5日（日）

■ 休 館 日 月曜日

■ 開館時間 平日：午前10時～午後5時 土日祝：午前10時～午後5時30分
入場は閉館30分前まで

■ 会 場 市立国際版画美術館（原町田4-28-1）

■ 入 場 料 一般800円、大学・高校生400円、中学生以下無料

※会期中に一部展示替えを行います。

※国際版画美術館ホームページ（<http://hanga-museum.jp/>）に詳細を掲載しています。